

**高画質フォト出力時の効率的なワークフローを実現
印刷ソフトウェア“Professional Print & Layout”の無償提供を開始**

キヤノンは、大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF PRO」シリーズにおいて、効率的な印刷ワークフローを実現するPC用ソフトウェア“Professional Print & Layout”の無償提供を本日より開始します。



“Professional Print & Layout”の操作画面

本ソフトウェアは、大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF PRO」シリーズ用の効率的な高画質フォト出力ワークフローを実現するPC用ソフトウェアです。従来のプラグインソフト「Print Studio Pro」をPC用ソフトウェアとして独立させ、起動時間や操作性を改善したほか、レイアウト機能の強化や新たなフォトソリューション機能の追加などにより、ハイアマやプロの写真家が思い描く作品作りやフォトラボにおける効率的なフォトプリント制作をサポートします。

■ UI刷新とレイアウト機能強化による優れた操作性と効率性

操作UI（ユーザーインターフェース）を刷新し、大きなプレビュー画面での画像確認や色調整に加え、ロール紙印刷時のレイアウトも確認できるため、さまざまなサイズの写真を効率的に配置して印刷できます。ドラッグ&ドロップによる画像の追加や配置、画像を左クリックして表示されるスロットメニューによる画像サイズの拡大／縮小などをUI上の簡単操作で行うことができるほか、よく使うレイアウトは保存して再選択できるため、定型化したフォトプリント作業の効率化に寄与します。

■ レンズ交換式カメラ「EOS」シリーズとの入出力連携ソリューション

本ソフトウェアとキヤノンのデジタルカメラ向けRAW^{※1} 現像ソフトウェア「Digital Photo Professional」の連携により、「EOS」シリーズで撮影された画像を忠実にプリントで再現する入出力連携ソリューションを強化しています。RAWフォーマット画像の持つ広いダイナミックレンジのデータを生かす「HDRプリント」機能に対応し、ハイライト部の階調性や、被写体の色再現性をより忠実に再現します。さらに「展示照明最適化」機能を使用して出力し、明るい照明下で展示することで、印刷物のダイナミックレンジが拡大します。「DPRAWプリント」機能は、「デュアルピクセルRAW^{※2}」データが持つ被写体の奥行情報を利用して、印刷時に起きる鮮鋭性の低下を最適に回復し、質感と奥行感を適切に再現します。

製品名	提供方法	公開日	対応機種
Professional Print & Layout	無償ダウンロード	2018年12月12日	imagePROGRAF PRO シリーズ

※1 JPEG などに色情報などが補完・補正される前の、撮像素子が感知した色情報の生（RAW）の画像データ。

※2 撮像素子からのデュアルピクセル情報が付加された特別なRAW画像データ。対応機種は「EOS 5D Mark IV」（2016年9月発売）、「EOS R」（2018年10月発売）。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90063

● imagePROGRAF ホームページ : canon.jp/imageprograf

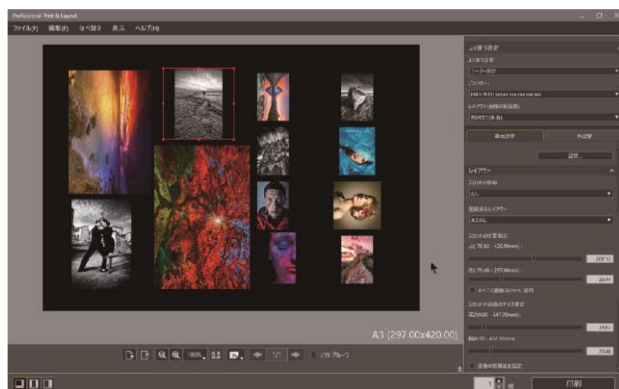
● EOS ホームページ : canon.jp/eos

<主な特長>

1. UI刷新とレイアウト機能強化による優れた操作性と効率性

- ・従来のプラグインソフトウェアをPC用ソフトウェアとして独立。キヤノンのデジタルカメラ向けRAW[※]現像ソフトウェア「Digital Photo Professional」や「Adobe Photoshop」「Adobe Photoshop Lightroom」などの画像編集ソフトウェアと連携し、プラグインソフトウェアとしても起動可能。
- ・起動プロセスの改善により起動時間を短縮。
- ・操作UI（ユーザーインターフェース）を刷新し、大きなプレビュー画面での画像の確認や色調整などが可能。
- ・ロール紙印刷時のレイアウトを確認でき、さまざまなサイズの写真を効率的に配置し用紙を最大限に活用した印刷が可能。
- ・ドラッグ&ドロップの簡単操作で画像の追加、配置が可能。
- ・画像を左クリックして表示されるスロットメニュー（下図参照）の採用により、トリミング、画像の回転、四切や六切などよく使う写真サイズへの拡大／縮小などが容易。
- ・よく使うレイアウトを保存し、再選択できるため、定型化したフォトプリント作業を効率化。用紙種類、印刷品位などのプリンター設定も併せて保存することが可能。
- ・印刷結果の色味や仕上がりをプレビュー画面で確認できる「ソフトプルーフ機能」に対応。色味違いによる不要な印刷を抑制。
- ・余白にトンボ（断裁時の目印）を印字する「トンボ印刷機能」に対応し、印刷後のカッティング作業が容易。

※ JPEG などに色情報などが補完・補正される前の、撮像素子が感知した色情報の生（RAW）の画像データ。



レイアウト機能の操作画面



スロットメニューの操作画面
(各画像の左クリックにより表示)

2. レンズ交換式カメラ「EOS」シリーズとの入出力連携ソリューション

- ・キヤノンの入出力連携の基本コンセプト「Crystal-fidelity」（別項参照）に基づき、本ソフトウェアと「Digital Photo Professional^{※1}」（以下、「DPP」）の連携を強化。「EOS」シリーズで撮影された画像を忠実にプリントで再現する入出力連携ソリューションを実現。
- ・「HDR プリント」機能では、夜景など明暗差の大きい画像でも、ハイライト部の階調性や、被写体の色再現性をより忠実に出力可能。1ショットのRAWデータから画像を生成することで、複数枚の画像を合成することなく忠実に再現。
- ・「展示照明最適化」機能を使用して出力し、明るい照明下で展示することで、白飛び、黒浮きを抑制。印刷物のダイナミックレンジを拡大することが可能。

※1 「DPP」でのHDR現像データはCanon HEVC CodecのダウンロードによりHEIF形式のファイルとして保存可能。JPEGと比較してより広いダイナミックレンジ、色再現域を表現でき、HEIF形式で保存したファイルを「DPP」経由で本ソフトウェアに読み込めば、レタッチ作業をやり直すことなく「HDRプリント」が可能。

- ・「DPRAW プリント^{※2}」機能では、「デュアルピクセル RAW^{※3}」データが持つ被写体の奥行情報を利用して、印刷時の鮮鋭性の低下を補正することにより、奥行感／立体感を適切に再現したプリントを実現。

※2 64bit OS を搭載した PC を使用する必要があります（16GB 以上のメモリーを推奨）。

※3 撮像素子からのデュアルピクセル情報が付加された特別な RAW 画像データ。対応機種は「EOS 5D Mark IV」（2016 年 9 月発売）、「EOS R」（2018 年 10 月発売）。

< 「Crystal-fidelity」 とは >

目に映る世界をありのままに再現することを意図したキヤノンの入出力連携の基本コンセプトです。「Crystal-fidelity」は、レンズ交換式カメラ「EOS」シリーズと大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF PRO」シリーズによるキヤノンのシームレスな入出力連携ソリューションを実現し、限りなく 3 次元に近い 2 次元表現を可能にします。

< 主な製品仕様 >

対応アプリケーション	Digital Photo Professional Version 4.9.20 以降 Adobe Photoshop CC 2015.5、CC 2017、CC 2018、CC2019 Adobe Photoshop Elements 15、2018、2019 Adobe Photoshop Lightroom V6.x、CC2015、Classic CC
対応ファイルフォーマット	JPEG、TIFF（単独起動時）
対応 OS	Windows 7 SP1 Windows 8.1 Windows 10（RS1 以降） Mac OS 10.11.x～10.14.x
対応機種	imagePROGRAF PRO シリーズ